

| | | | |
|---|-----------------|------|------------------|
| 科目名 | 教育のユニバーサルデザイン特論 | 担当教員 | 阿部 利彦 |
| 科目属性 | 専門科目 C | 単位数 | 2 単位 (面接 0.5 単位) |
| 【授業の目的・ねらい】 | | | |
| 【授業概要】 | | | |
| <p>教育のユニバーサルデザインとは子どもたちにとって分かりやすく、学びやすく配慮された教育のデザインである。そして、さまざまな学びや行動につまずきを持つ子が、通常学級の日常において学習や活動に興味を持ち、新たに視野を広げられるような工夫である。通常学級にいるさまざまな困難や支援ニーズを持つ子どもをも支える授業づくり、学級づくりの概念について検討するとともに、ユニバーサルデザインに関わる教育の動向に関して考察する。</p> | | | |
| 【授業の到達目標】 | | | |
| この授業の具体的な到達目標は、以下の3つである。 | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1 教育のユニバーサルデザイン化について理解する 2 授業づくりにおける視覚化、焦点化、共有化について理解する 3 個別支援とユニバーサルデザイン化の必要性について理解する | | | |
| 【授業計画】 | | | |
| 全 15 回の授業計画は以下のとおりである。 | | | |
| 第 1 回 ユニバーサルデザインとは何か | | | |
| 第 2 回 障害者基本法からみたユニバーサルデザイン | | | |
| 第 3 回 「合理的配慮、基礎的環境整備」とユニバーサルデザイン | | | |
| 第 4 回 インクルーシブ教育からみたユニバーサルデザイン | | | |
| 第 5 回 学びのユニバーサルデザイン (UDL) | | | |
| 第 6 回 マルチ知能と授業のユニバーサルデザイン | | | |
| 第 7 回 神経心理学と授業のユニバーサルデザイン | | | |
| 第 8 回 学習者に対する「教えにくさ」の背景を学ぶ | | | |
| 第 9 回 教育のユニバーサルデザインとは | | | |
| 第 10 回 授業のユニバーサルデザイン～視覚化、焦点化、共有化について | | | |
| 第 11 回 授業のユニバーサルデザイン～5つのテクニック | | | |
| 第 12 回 教室環境のユニバーサルデザインとは | | | |
| 第 13 回 人的環境のユニバーサルデザインとは | | | |
| 第 14 回 授業科目で育てるソーシャルスキル | | | |
| 第 15 回 共感を高める学級づくりとは何か | | | |
| 科目修得試験 | | | |
| 【評価方法】 | | | |
| 評価については、スクーリング評価 (25%)、レポート評価 (25%)、科目修得試験 (50%) を総合しての評価となる。 | | | |
| 【教科書】 | | | |
| 阿部利彦. (2017). 通常学級のユニバーサルデザイン・スタートダッシュ Q&A55, 東洋館出版. ISBN:978-4-491-03419-5 | | | |
| 【参考図書】 | | | |
| 阿部利彦. (2015). 通常学級のユニバーサルデザイン・プラン zero2, 東洋館出版. ISBN:978-4-491-03157-6 | | | |
| 柘植雅義. (2014). ユニバーサルデザインの視点を活かした指導と学級づくり, 金子書房. ISBN:4760895418 | | | |